

このページのテーマ

アレルギー性鼻炎(スギ花粉症)に対する舌下免疫療法



話しやすい雰囲気と親身な対応で、幅広い世代から信頼されている院長

ふくいわ耳鼻咽喉科クリニック

耳鼻咽喉科専門医、がん治療認定医だけでなく、アレルギー専門医でもある福岩院長。専門医としての立場から耳鼻咽喉科アレルギー診療を行っており、舌下免疫療法の導入を行いつつ、従来の薬物療法や炭酸ガスレーザーによる手術療法にも力を入れている。薬を選ぶ際も各薬剤の作用と患者さんの状態を考慮して、最も効果的と思われる治療薬を決定。さらに検査時の負担を少なくする補助機器も積極的に取り入れている。

また、以前は鹿児島大学病院で頭頸部外科の手術治療（舌がん、咽喉部がん、甲状腺がん等）にあたってきた。腫瘍の切除や再建手術を数多く手がけた経験から、がんの早期発見・早期治療にも力を注いでいる。院内にはCTや分光内視鏡（FICE）、エコーなどの様々な検査機器を揃え、がん専門施設と同等の診断水準を目指している。

幅広い世代の患者さんを耳・鼻・のど・めまいなどの疾患を中心に診療する同院。丁寧な説明や検査等により、以前は待ち時間が長くなることも。しかし、インターネットや携帯電話のQRコード、自動音声ガイダンスから予約できるシステムの導入により、待ち時間の短縮に成功した。

さらに現在、受付から待ち時間までをサポートする医療コンシェルジュの育成にも力を注ぐ。コンシェルジュは来院時の誘導に加え、問診票を記入する際のヒアリングやサポートも行っているため、詳細な症状を伝えられる点もいいところ。赤ちゃん連れやお年寄りなど、問診票の記入が困難な人も安心だ。プライバシーに配慮したホスピタリティーあふれる医療サービスが評判を呼び、遠方から訪れる患者さんも多い。

温かくモダンな外観が印象的

CTをはじめ質の高い検査機器を完備。隠れた病気も見逃さない

福岩 達哉 院長
Tatsuya Fukuiwa

ふくいわ耳鼻咽喉科クリニック

Profile

加世田市（現・南さつま市）で出生。県立鶴丸高校卒業、鹿児島大学医学部卒業後、平成7年、鹿児島大学医学部耳鼻咽喉科学教室へ入局
平成12年（財）癌研究会附属病院頭頸科研修
平成16年 米国アラバマ大学バーミングハム校（UAB）免疫ワクチンセンター留学
平成19年 鹿児島大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科 講師
平成20年 ふくいわ耳鼻咽喉科クリニック開院
平成22年 医療法人エンターナル設立

- 医学博士
- 日本気管食道学会認定専門医
- 日本アレルギー学会認定専門医
- 日本アロマセラピー学会認定医
- 日本耳鼻咽喉科学会認定専門医
- 日本がん治療認定医機構がん治療認定医
- 日本耳鼻咽喉科学会認定補聴器相談医

ふくいわびじんこうかくりにつく

ふくいわ耳鼻咽喉科 検索

ふくいわ耳鼻咽喉科クリニック DATA

診療時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00～12:00	○	○	○	／	○	○	／	／
14:00～18:00	○	○	○	／	○	☆	／	／

☆土曜午後は17:00まで受付

TEL0993-53-3387

- 住 所／南さつま市加世田本町22-5
- 駐 車 場／あり
- アクセス／指宿スカイライン谷山ICから車で30分
枕崎市街から車で25分
鹿児島交通線加世田ステーションから徒歩2分

鹿児島 دکتر 醫師に聞く
私たちのところとからだ
メンタル&フィジカルトリートメント

花粉症などのアレルギー性鼻炎で悩む人は、世代を問わず多いはず。鼻水や目のかゆみ、くしゃみといった辛い症状を根本から改善する治療について、アレルギー専門医の福岩達哉先生に伺いました。

Q アレルギー性鼻炎とはどんな病気ですか？

A アレルギーの原因となるアレルゲンが体内に侵入し、くしゃみや鼻水、鼻づまりなどの症状を引き起こすのがアレルギー性鼻炎です。なかでも代表的なアレルゲンにスギ花粉があり、スギ花粉症と呼ばれます。スギ花粉症は外出の支障や思考力の低下、イライラ感など日常生活の様々な場面で影響を与えることがあり、現在も多くの人々が悩んでいる病気です。

Q スギ花粉症の治療にはどんなものがありますか？

A 主に以下の3つがあります。

- 1、薬物療法→薬を使って症状を和らげます。根本的な改善にはならないため、症状がある間は薬を使い続ける必要があります。
- 2、手術療法→鼻粘膜をレーザーで焼き、アレルギー反応を起こらないようにする治療法です。安全性の高い日帰り手術ですが、効果は永久的なものではなく、手術のみで完治させることはできません。スギ花粉症の場合はシーズン前に年一回治療が必要になります。当院でも治療が可能で、なかでも薬を長く飲みたいくない方や妊娠中の方におすすめです。
- 3、アレルゲン免疫療法→体をアレル

ゲンに慣らして症状を和らげる治療法です。根本的な体質改善が期待できます。

Q スギ花粉症を完全に治したい場合、どの治療が最も効果的ですか？

A 薬物・レーザー治療は対処療法のため、アレルギー反応が起きないように体質改善を目指すなら、アレルゲン免疫療法が有効です。皮下に注射する「皮下免疫療法」や舌の下に薬を投与する「舌下免疫療法」があります。皮下免疫療法は注射のため痛みがあり、医療機関で行う都合上、頻繁な通院が必要となります。舌下免疫療法は舌下への投与のため注射のような痛みがなく、自宅での服用が可能です。

Q 治療を受けるために必要なことは？

A 舌下免疫療法はアレルゲンを用いて行う治療のため、まずは原因となるアレルゲンを特定する必要があります。スギ花粉症かどうかを判断するため、血液検査や鼻汁検査などを行い、原因をしっかりと突き止めます。また、当院ではレーザーで血管を浮かび上げらせる最新機器を導入しています。この機器を用いることで素早く的確に採血を行い、血管の副損傷

を避けることが可能です。



採血しやすいように導入されたベインピュアフレックス。血管がくつきりと浮かび上がり、採血がよりスムーズに行われる

Q 舌下免疫療法について教えてください。

A スギ花粉症と診断された12歳以上の方が治療を受けられます。1日1回、少量の薬を舌下に服用し、約2週間かけて徐々に量を増やしていきます。それ以降は一定量を3～5年ほど継続して服用します。受診は平均して1か月に1回くらいのため、何度も通う必要がなく、自宅での服用できるのも利点です。

Q 舌下免疫療法はどんなところで受けられますか？

A この治療薬を処方できるのは、講習や試験を経て認可を受けた医師のみのため、最寄りの耳鼻咽喉科またはアレルギー科にお尋ねください。当院は日本アレルギー学会の認定専門医が治療を行っています。スギ花粉症の場合、免疫療法とレーザー治療はスギ花粉の飛散時期（2～4月前後）は受けられないので、ご注意ください。

Q この治療でどんな効果が期待できますか？

A アレルギー症状を治したり、長期にわたり症状を抑える効果が期待できます。個人差があるため、すべての方に効果を示すわけではありません。また、完全に症状を抑え